

令和8年6月定例教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時：令和8年6月26日（金）14：00～14：56
2. 場所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室
3. 出席委員：長谷川教育長 木村教育長職務代理 小山委員 松下委員 松本委員 狩浦委員
4. 欠席委員：なし
5. 出席職員：教育部長 桐原誠、教育部理事兼教育総務課長 吉永ゆかり、学校教育課長兼主幹指導主事 井上久子、学校教育課主任指導主事 中野貴仁、生涯学習推進課長 割石明日香、青少年育成課長 長崎英明、文化課長 坂井由香、学校給食センター所長 村山隆一、教育総務課庶務係長 波多江由美
6. 傍聴者：なし

7. 会議内容

1. 開会

【木村議長】14時00分、開会を宣言。

2. 教育長あいさつ

開会にあたり長谷川教育長があいさつ

3. 会議録の署名委員の指名について

【教育長】会議録署名委員は会議規則第28条の規定により教育長及び会議で決めた委員1名となっておりますので、木村職務代理を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

4. 会議の非公開について

【木村議長】第47号議案、教育委員会事務局及び教育機関の職員の人事について」は、人事に関する案件のため規定により非公開としたいと思います。可否の決定を行います。非公開とすることに賛成の委員は挙手をお願いします。

【委員】（挙手）

【木村議長】挙手全員です。第47号議案については、公開しないことに決定します。

5. 諸報告

（1）教育長報告

（資料により、6月12日開催の管内教育長会の報告及び説明）

（2）教育委員情報交流

なし

（3）教育委員会報告

・市議会第2回定例会について

6. 議案

【木村議長】今から審議に入りますが、議案の朗読は省いていただき、提案される議案の要点だけを説明していただきたいと思います。順に議案の審議を行いますので、説明をお願いします。

第43号議案 【共同訓令】古賀市公の施設の指定管理者選定委員会設置要綱の一部を改正する訓令の制定について （教育総務課長・議案説明）

【木村議長】ご質問等ありますか。(特になし) お諮りします。第43号議案は承認される方は挙手をお願いします。

【委員】(挙手)

【木村議長】挙手全員です。第43号議案は承認します。

第44号議案 古賀市教育委員会公用携帯電話の保有及び使用に関する取扱要綱の一部を改正する訓令の制定について(教育総務課長・議案説明)

【木村議長】ご質問等ありますか。(特になし) お諮りします。第44号議案に賛成の方は挙手をお願いします。

【委員】(挙手)

【木村議長】挙手全員です。第44号議案は原案可決とします。

第45号議案 古賀市スポーツ推進審議会委員の委嘱について(生涯学習推進課長・議案説明)

【木村議長】ご質問等ありますか。(特になし) お諮りします。第45号議案に同意の方は挙手をお願いします。

【委員】(挙手)

【木村議長】挙手全員です。第44号議案は同意とします。

第46号議案【臨時代理】令和8年度古賀市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について(学校給食センター所長・議案説明)

【木村議長】ご質問等ありますか。(特になし) お諮りします。第46号議案に承認される方は挙手をお願いします。

【委員】(委員挙手)

【木村議長】挙手全員です。第46号議案は承認します。

第47号議案 教育委員会事務局及び教育機関の職員(県費負担教職員を除く)の人事について(教育総務課長・議案説明)

【木村議長】ご質問等ありますか。(特になし) お諮りします。第47号議案に賛成の方は挙手をお願いします。

【委員】(委員挙手)

【木村議長】挙手全員です。第47号議案は原案可決とします。

7. 協議事項

・古賀市教育委員会の点検及び評価報告書について(教育総務課長・説明)

【木村議長】ご質問はありますか。

【小山委員】13ページの1番右下にある「全中学校に福岡県警から講師を招いて」の講師と説明概要について、2点目が12ページ防災では北部消防署から講師を招いているかをお尋ねします。

【学校教育課長】まず1点目は授業で大体1時間、1コマを使い、福岡県警の方から犯罪被害防止、犯罪への加担防止などについて、お話をいただいています。福岡県の暴力団の現状や実際に起こった暴力団関係の事件、暴力団がどのように生活をしているのかなど、またSNSなどの身近な物の中にも危険にさらす物があり、使い方に気を付けていくべきだという話、特に闇バイトに巻き込まれないような指導もあり、危険なことに出会った時は、一人で抱え込まないで、必ず大人に相談することが大切だという指導をしていただいて、子どもたちも改めて考える機会となっているところです。続きまして2点目の北部消防署からは各学校避難訓練の講師としてお招きをしたり、小学校3年生の社会科見学で消防署で体験学習も行っているところです。また防災教育については、文科省が作成している東日本大震災の教訓を語り継ぐ動画教材なども用いて、子どもたちが防災への意識を高められるよう、授業で取り組んでいるところです。

【木村議長】3点お願いいたします。16ページ生活習慣病の予防②について、小学生に骨密度測定をする理由と測定で分かること、また、その測定結果の活用方法と、もし、骨密度が低いお子さんがいた場合は、保護者へ連絡するのをお聞かせください。

【学校教育課長】それでは、16ページ、生活習慣病の予防についてのこれまでの骨密度測定について、お答えします。骨密度測定は骨粗鬆症の予防だけではなく、子どもたちの健康づくりや生活習慣改善につなげることを目的として、実施しています。近年子どもたちの生活習慣の変化に伴い、運動不足や食生活の偏り等が課題となっていて、骨量は成長期に大きく増加し、20歳頃まで、将来の骨の強さの基礎が作られると言われていています。そのため、骨密度を測定することで、子どもたち自身や保護者が日頃の生活習慣を振り返る糧とし、運動や食事などの改善に繋げていきたいと考えております。測定結果は、児童生徒本人と保護者に個表としてお知らせをし、家庭における健康づくりや生活習慣の改善に役立てていただきたいと考えております。学校においても、子どもたちの健康づくりや、保健指導の参考資料として活用し、成長期における望ましい生活習慣の定着につなげて行きたいと考えております。なお、骨密度測定は測定条件などによりバラツキもあるため、結果のみをもって疾病の有無や健康状態を判断するのではなく、結果の良し悪しを評価することが目的でもありません。あくまで生活習慣を見直すための、参考資料として活用して頂くものです。そのため測定の結果を持って、個別に指導、受診の勧奨は予定しておりませんが、保護者と児童生徒が、日々の食事や生活習慣を振り返るきっかけとして活用していただければと思っております。以上です。

【木村議長】ありがとうございました。子どもたちが、参考に生活習慣を見直してくれたらと思います。2点目の質問、20ページのスクールソーシャルワーカーの対応件数が昨年度と比べて1.5倍と増えている理由は何故でしょうか。

【学校教育課長】令和7年度より、通常対応のスクールソーシャルワーカーを2名から3名体制に増員をしています。これにより、学校とあすなろ教室での支援が充実したことが要因ではないかと学校教育課としては捉えているところです。また学校現場において、スクールソーシャルワーカーの役割が年々浸透して、教職員からの相談や支援依頼が増えたことも増加の要因と考えています。不登校や家庭環境、心理福祉的な課題など、複雑化多様化する児童生徒

の課題に対し、早期からスクールソーシャルワーカーを配備し支援を行うことで、より充実してきたのではないかと捉えているところです。以上です。

【木村議長】より充実して保護者の方も助かるのではと思いました。23ページ②の地域学校協働活動推進員はどのような活動をされていますか。

【学校教育課長】地域学校協働活動推進員の方は、これまでもずっと学校の大応援団として、子どもたちの成長を温かく見守り、支えていただいております。具体的には各地域での寺子屋、サマースクールやウィンタースクールの開催、除草作業、松林清掃、ホタルの保全活動やビオトープ活動、学習応援ボランティアとして赤ペン先生としての支援など、また、授業支援としては、授業で必要な実技サポートを担当教員と連携して支援いただいております。例えば、家庭科でのミシンの指導や味噌づくりの指導、生活科での昔遊びの指導やお手伝い、図工でのノコギリやトンカチの支援、また朝弁&朝勉や今年は地域の方向けのヨガ教室を開催している学校もございます。また現在4つの小学校区で行われている通学合宿についても、学校と地域をつなぐキーパーソンとして活躍しておられるところでございます。先日6月22日に古賀市地域学校協働活動推進員の研修会を実施し、県の社会教育総合センターの指導主事を講師として招聘し、ご講話をいただいております。その際には各学校での活動内容を持ち寄っていただき、横のつながりを作るための情報共有や、活動の提案もしていただいたりしています。先日には地域学校協働活動推進員の方から闇バイトやSNS詐欺に遭わないように、警察のチラシ等を活用して啓発をしていきたいという提案もございました。

【木村議長】ありがとうございます。色んな所で活動されていて、素晴らしいと思いました。他にご質問等ございませんでしょうか。また何かございましたら、次回よろしく申し上げます。

8. その他事項

(1) 各課報告

教育部長 なし

教育総務課 なし

学校教育課

・児童生徒指導状況について

・R8 中体連・吹奏楽コンクール日程について

・就学支援申請件数について（学校教育課長が資料により報告）

生涯学習推進課

・立川談春独演会について（生涯学習推進課長が資料により報告）

文化課 なし

青少年育成課

・令和8年度放課後子供教室第2回指導者研修について（青少年育成課長が資料により報告）

学校給食センター なし

【木村議長】各課報告についてご質問はありますか。

【狩浦委員】古賀市立小中学校生徒指導状況についてお尋ねします。先ほどいじめの認知件数について説明していただきましたが、積極的な認知が進んでいるのは、何か市や

県から働きかけがあったのでしょうか。もう1点関連して、学校別報告件数に偏りはありますか。どの学校も増加していますか。

【学校教育課長】いじめについての働きかけは昨年度からの継続としてさせていただいているところで、各学校の児童生徒数の規模や、学年の状況により件数に違いがありますけれども、小中ともいじめについて積極的に認知していく姿勢から、認知件数が増加していると考えております。いじめの主な要因は、冷やかしからかい。悪口や脅し文句、嫌なことを言われるが最も多くございます。またその発見に至るまでの経緯は、学級担任への相談や発見、生活アンケートによる認知が非常に多く、私たちとしては子どもたちの相談しやすい環境が増えているのではないかと考えているところです。どの学校も少しずつ増加しておりますが、若干児童数や学年の状況で変動があり、徐々にすべての学校がという事でなく、バラツキがございます。

【松本委員】要因として例えば子どもたちの生活背景とか、学校生活に対する不満などはあるのでしょうか。

【学校教育課長】要因は色々ありますが、一番多いのは「からかい」等、次に多いのが「ちょつとぶつけられた」など子ども達同士のトラブルが上がってきております。

【松本委員】早期発見・早期対応で、深刻なトラブルに発展せずに、軽微なうちに解決できていると捉えてよろしいですか。

【学校教育課長】そのように捉えております。教育委員会へは認知件数だけでなく、アンケート等の発見のきっかけや担任等へいじめられたとの相談状況、いじめの対応・いじめられた児童生徒双方への対応など、学校から報告を上げていただいております。また7月に行います「いじめ防止対策推進委員会」では、各学校の取り組み状況を報告していただいて、事案を全学校で共有をしていく取り組みを本年度は入れております。

【松本委員】私個人的に1番嫌いなのは「いじめ」、人をいじめることで快感を覚える。特に嫌なのは、いじめられた側が転校していくことです。古賀市の場合、校長会と連携して、きめ細かな指導をされているということで、大変感謝しております。これからもぜひ諸機関で情報共有して早期発見、早期対応で、いじめが深刻にならないように取り組みをぜひ推進していただきたいと思います。

【木村議長】後の対応も継続していただきたいと思います。

【学校教育課長】古賀市では必ず3か月見守りをすることを徹底して、その後いじめが無くなっているか、まず子どもに、そして保護者にも確認させていただいてというところまで教育委員会から指導しております。

【松本委員】就学支援の総申請件数は、昨年度に比べて物価高の影響などで、増えていますか。

【学校教育課長】前年度比55件、率にして10%の減少となっております。就学援助制度は、広報紙への掲載、学校を通じた全児童生徒へのチラシの配布、公式ホームページへの掲載、市の公式LINEや安心安全メールでの案内など複数の手段を活用して、周知を行っております。その結果、制度の対象要件について、保護者の理解が進み、対象とならないことが見込まれる世帯については、申請を控えられるケースもあるものと考えております。また申請件数の増減につきましては、各世帯の経済状況や転出入など様々な要因

が影響しており、減少要因の特定は、現在のところ困難でございます。なお物価上昇との関係につきましても、一定の影響がある可能性が考えられますけれども、申請件数との直接的な相関関係を把握することは、困難であると考えております。ただ教育委員会といたしましては、制度を必要とする方が、申請の機会を逃すことがないように、引き続き丁寧な周知に努めてまいりたいと考えております。

(2) その他

教育総務課長 (行事予定の説明)

庶務係長 (定例会のスケジュール)

9. 閉会

議長が閉会を宣言し、14時56分閉会した。

会議の経過を記載してその相違ないことを証するためここに署名する。

令和 8 年 7 月 17 日

教育長 長谷川清子

署名委員 木村真由美